

# 各部の活動方針

## 理 化 部

顧問名 林 京子、西山 純平、佐々木政也、

青木 正寿、(飯塚 真弓)

目 標 部としての年間目標	全国高等学校総合文化祭出場／物理・化学に親しむ
方 針 部としての基本方針	<p><b>全員が研究テーマを持つ</b></p> <p>「なぜだろう?」と興味を持ったことを詳しく調べ、その仕組みや原因を追究するために実験をすることは、自然科学の基本である。研究は簡単に結果が出るものではないが、根気強く活動が続けることで、知識だけではない多くのものが得られるはずである。また、研究経過や結果をまとめ、研究発表をすることで、研究成果に責任を持ち、自身のよい点も足りない点も客観的に振り返ることのできる機会を得る。これらを繰り返すことで、「面白い」活動だけに留まらず、科学的な態度を涵養し人間的な成長を期待できる。</p> <p><b>サイエンスの啓発活動を行う</b></p> <p>自分たちが楽しむのはもちろん、その楽しさを周囲に伝えることも理化部の大切な活動である。そのため、地域の科学イベントに積極的に参加し、物理や化学の魅力を広めていく。イベント参加者の年齢は様々であるが、対象に応じて説明を工夫し、安全面に配慮しながら実験のデザインを行う。普段接する機会の少ない世代の人々と「聞く」「話す」ことで、コミュニケーション能力の向上を目指す。</p>
年 間 計 画 参加予定の大会名 や 日時、場所等	<p>6月下旬…木高祭出展 (本校)</p> <p>7月以降…物理・化学系の「KISARAZU開拓ラボ」に積極的に参加 (本校、他)</p> <p>8月上旬…わくわくサイエンス出展 (袖ヶ浦市民会館)</p> <p>9月下旬…千葉大学高校生理科研究発表会参加 (千葉大学 西千葉キャンパス)</p> <p>11月中旬…科学の甲子園 千葉県予選出場 (千葉県総合教育センター)</p> <p>11月下旬…科学研究発表会 (全国高等学校総合文化祭予選) 出場 (千葉大学等)</p> <p>12月下旬…クリスマスイルミネーション実施 (本校)</p> <p>3月中旬…SSH校内研究発表会参加 (本校)</p>